

2022年 12月 25日 《クリスマス礼拝》

# 主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 讃美歌112番 ～主我を愛す～

平和の祈り

聖書朗読 マタイによる福音書2章1～12節

特別賛美 大和カルバリー聖歌隊&アンサンブル

クリスマス降誕スライド 「みんなでたのしいクリスマス」

メッセージ 「救い主に出会う物語」

石井 潤 牧師

献 金 讃美歌106番 ～いつくしみ深き～

祝 禱

お知らせ [司会者]

キャンドル・サービス 讃美歌109番「きよしこの夜」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

- ★クリスマスおめでとうございます！救い主イエス様のお誕生をお祝いします！
- ☆今週の祈り会：○早天祈祷会：明朝6時～。（木曜、土曜の祈祷会はお休み）
- ★来週の日曜は初詣礼拝です。11時のみです。新年の祝福をお祈り致します！
- ☆今年一年守られたことを感謝して、「年末感謝献金」をお捧げ致しましょう！
- ★クリスマス献金の封筒は受付にあります。どうぞ、お使いください。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [12/25-1/1]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	ハガイ 1-2	ゼカリヤ 1-3	4-7	8-10	11-13	14, マラキ 1	2-4	創世記 1-2
新約	黙示録 16	17	18	19	20	21	22	マタイ 1
チェック	○○○	○○○○	○○○ ○	○○○ ○	○○○ ○	○○○	○○○ ○	○○○

## 「救い主に出会う物語」

～飼葉おけの中にいる赤ちゃんは、一体だれ？～

「ところが、彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。…。『きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それがあなたがたに与えられるしるしである』」ルカによる福音書2章6-7、11-12節

メリークリスマス！！救い主イエス様のご降誕を心よりお祝い申し上げます！

今から約2000年前、パレスチナの小さな町ベツレヘムの小さな家畜小屋で、私たちの救い主イエス様がお生れになりました。「飼葉おけに寝かされている赤ちゃん」が大きなしるし(サイン)でした。それは、単なる目印というだけではなく、象徴的であり、メッセージが含まれている内容です。ベツレヘムの町は普段よりも多くの人々でごった返していました。なぜなら、世界の皇帝アウグストゥスが命令を出し、人口調査を行ったからです。国勢調査のようなものでしょうが、国民は皆自分の戸籍のある、先祖代々与えられている町が決まっていた。それは民族毎、部族ごとに決まっていた。イエス様はダビデ王の子孫として生れなければなりません(エリヤ23章)。ベツレヘムはダビデの出身地でした。しかし、イエス様のご両親であるヨセフとマリヤはすでにこの時にはベツレヘムから北に100キロ以上離れたナザレにいました。しかも、マリヤは身重の体。ヨセフだけ行けばよかったなら、マリヤは行かなかったでしょう。でも、その時代の皇帝の権力は絶対でしたから登録をしなければいけなかったでしょう。そんな強い権力の行使がない限り、イエス様がベツレヘムで誕生することは不可能だったのです。しかし、それが旧約聖書ミカ書5章2節の預言の成就となったのです。これが一つのクリスマスのミステリーでもあります。救い主、メシヤはダビデ家の子孫であり、ベツレヘムで誕生する。そのことが700年から800年前に明確に語られています。

ある大学教授が600名の生徒たちの協力を得て、ひとつの計算をしました。それは、少なくとも60カ所以上もあるキリスト(メシヤ、救い主)に関する旧約聖書の預言の記述が一人の人に実現する確率がどれくらいか？ということですが、それは、1/10億×1億の確率だそうです。イエスの誕生だけではなく、その十字架についても語るができます。それほどに、驚異的な数字の確率でイエスがキリスト(救い主)であることがはっきりしているのです。

しかし、どんなにイエスが救い主であり、そのことのためにこの世に来られ、この世の一人一人のために苦しみ、十字架で死なれたとしても、その方と私たちがそれぞれ出会うことなしに、私たちの人生に救いは実現しませんし、素晴らしい人生を体験することはできないのです。東からきた博士たちははるばるキリストに会いにきました。それは、彼らの人生が変えられることが目的でした。人生を賭け、命を懸けた旅は主との出会いで変化したのです。